

心の ともしび



No.770 2022年6月

「共生社会」

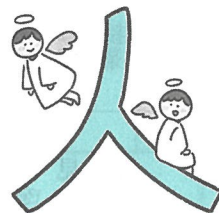
暗いと不平を言うよりも
すすんであかりをつけましょう



人という漢字の形にある様に、私たちが支え合って生きています。お互いのことを思いやり、大切にしながら生きる。自分という小さな存在が受け止められ、大切にされているのを実感するとき、それは生きるための大きな力となります。現在修道司祭として歩んでいる私ですが、二〇〇二年末、大学を卒業してから勤めていた会社を辞め、次の春から修道生活という新たな道に進もうとしていた時のこと、退職の前後それまで長年お世話になった方々にお会いしてご挨拶させていただき、そして多くの方々を送別会を開いていただきました。

「頑張つて」「行つてらっしゃい」など、多くの励まし(ほげ)の言葉を掛けていただきました。温かな言葉をいただいで嬉しく思うと同時に、お別れするんだなあという、一抹(いちまつ)の寂しさも感じていたでしょうか。

そのような中、送別会の折、「戻つて



支え合つて生きる

ふるかわ とし まさ
古川利雅 神父

きたら歓迎会を開いてあげる」。この様に仰つてくださった方々がおられました。とても心に染み、新たな歩みを歩みだそうとする私に大きな力を与えてくれました。

新しい道に進むことを祝つて喜んで送り出してあげる。もし戻つてきたとしても喜んで迎えるわね。その様な想いで、同期の方々や先輩方は送り出してくださいのですね。

ちっぽけな私のありのままの存在を丸々受け止め、包んで下さったこの一言は、私の中で特別なこと、特別な言葉として、宝物としてずっと大切にしています。

言葉は人の心の現れ。その言葉、その人の心に触れて力をいただき、大きく変えられながら、私たちはともに歩んでゆく様に思います。私たちの語る言葉が人を思いやり、人を大切に包む言葉であります様に。いただいた言葉を大切に、歩んでゆくことができます様に。



ホームページ (<https://www.tomoshihi.or.jp>)



【心のともしび運動 ご支援のお願い】

心のともしび運動は、世界の平和と一人ひとりの真の幸せを願って、ラジオ、機関紙、インターネットを通じて神の言葉を伝えています。この活動は、すべて援助会員の皆様からの献金によって運営されています。人として人のために生きる力の泉となる神の言葉を一人でも多くの方に伝えられるよう、ぜひ、援助会員になってご支援くださいますようお願い申し上げます。

住所、氏名を下記までお知らせください。申し込み用紙をお送りさせていただきます。

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル 電話 075-211-9341 心のともしび運動YBU本部